

令和4年度 第1回千葉市立博物館協議会

日時 令和4年8月19日（金）

10:00~11:30

場所 千葉市立郷土博物館 講座室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

(1) 令和3年度の事業報告について

(2) その他

4 閉 会

3 議題

(1) 令和3年度の事業報告について

→次ページから

(2) その他

議題2 令和3年度の事業報告について

○加曾利貝塚博物館

1 入館状況

年度	開館日数(日)	来館者数(人)	備考
元年度	281	67,632	R2.3.3~3.31 臨時休館
2年度	260	33,500	R2.4.1~R2.5.25 臨時休館
3年度	308	52,124	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曾利貝塚博物館の施設管理業務及び加曾利貝塚縄文遺跡公園の維持管理業務 ①警備・清掃業務委託 ②草刈業務委託 ③消防用設備その他保守点検委託
	イ 施設修繕	5 月 7 月 2 月	北貝塚貝層断面観覧施設出入口扉修繕 公園正面入口脇園路修繕 博物館街路灯修繕
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の整理保管	通 年	資料は埋蔵文化財調査センターと共同で管理しており、相互の連携を踏まえて台帳の整理及び保管状況の確認などを随時実施している。 ※第1・第3収蔵庫の解体に伴い、平成29年度に大半の資料を移動。現在、旧幸町第一小学校で1560箱、埋蔵文化財調査センターで120箱を保管している。
	イ 資料の貸出	通 年	他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ① 資料貸出 3件 9点 ② 写真貸出・掲載 56件 107点 ③ 資料館内利用 3件 125点 ④ 収蔵品写真撮影依頼 2件 8点
(3) 調査研究事業	ア グループ研究	通 年	加曾利E式土器に関する集成研究
	イ 個別研究	通 年	・加曾利貝塚等の出土土器の編年学的研究 ・遺跡保存に関わる実験的研究 ・加曾利貝塚縄文遺跡公園内における自然の活用方法の研究

	ウ 委託研究		東傾斜面採取クロボク土の年代測定業務委託 早稲田大学による地中レーダー探査
	エ 『貝塚博物館 紀要』の発行	3 月	『貝塚博物館紀要』第 48 号の発行 A4 判 65 ページ 600 部 ・千葉市内野第 1 遺跡縄紋土器付着炭化物の 炭素 14 年代測定 (小林 謙一 中央大学 他 4 名) ・縄文式社会の土器づくり(1) ・「縄文土器の製作技法を探る」(2)加曾利 E 式土器 の成形－土器破断面に記された"積上げ角度""接着度 合い"－ (戸村 正己 埋蔵文化財調査センター) ・加曾利貝塚の縄文人は貝刃で土を掘ったのか？ (木口 裕史 埋蔵文化財調査センター)
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	加曾利貝塚から縄文時代の貝塚を見る 資料点数：382 点
	イ 企画展		
	「特別史跡加曾利貝塚 令和 2 年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース)	3 月 13 日(土)～ 5 月 9 日(日)	令和 2 年 7 月～12 月にかけて実施した特別史跡加 曾利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発 掘の成果を紹介した。 資料点数：73 点 入館者数：8,873 人
	御所野遺跡展関連展 示 (世界遺産登録前 PR) (企画展示スペース)	5 月 18 日(火)～ 7 月 4 日(日)	2021 年 7 月に世界遺産に登録された「北海道・北 東北の縄文遺跡群」の構成資産のひとつ御所野遺跡 について、御所野縄文博物館と千葉市の連携で千葉 市生涯学習センターで登録前の PR のために行った 企画展の開催にあわせ、千葉市内の同時期の遺跡な どについて紹介した。 点数：51 点 入館者数：6,522 人
	所蔵品展 「青森県三内丸山遺 跡の縄文土器」 (ミニ展示スペース)	7 月 6 日(火)～ 8 月 29 日(日)	博物館所蔵資料に含まれる、青森県三内丸山遺跡 出土の縄文土器を紹介した。 資料点数：9 点 入館者数：9,284 人
	夏休み企画展 「調べて発見！私たちの まちの縄文時代 2021」	7 月 17 日(土)～ 9 月 19 日(日)	夏休み期間中の小中学生を対象に、市内の縄文時 代の遺跡について分かりやすく解説した。 遺跡散歩用地図を配布。 花見川区北清掃工場周辺(子和清水遺跡など)

	(企画展示スペース)		<p>稲毛区穴川周辺(園生貝塚など) 中央区大百池周辺(神門遺跡など) 若葉区動物公園周辺(餅ヶ崎遺跡など) 緑区おゆみ野周辺(有吉北貝塚など)</p> <p>資料点数：73点 入館者数：9,639人</p>
	<p>館蔵レプリカ展示 「海と縄文人」 (ミニ展示スペース)</p>	<p>9月4日(土)～ 9月19日(日) 再展示 3月15日(火)～ 5月22日(日)</p>	<p>博物館学芸員館務実習生による企画および展示。 実習成果を発表することを目的とし、館蔵の海にかかわる遺物のレプリカを解説付きで展示した。</p> <p>資料点数：40点 入館者数：3,454人 ※入館者数は3月末までの集計</p>
	<p>特別展 「祇園原貝塚」 (企画展示スペース)</p>	<p>10月2日(土)～ 12月5日(日)</p>	<p>市原市の指定史跡となった祇園原貝塚について、市原市教育委員会との連携企画として出土品を展示した。</p> <p>資料数：707点 入館者数：12,312人</p>
	<p>「あれもE これもE ・加曽利E式土器・ (千葉市編2)」 (企画展示スペース)</p>	<p>1月8日(土)～ 3月6日(日)</p>	<p>千葉市内出土の加曽利E式土器の最終末の資料を中心に時期を追って展示し、縄文文化における土器型式の変遷や文化の移り変わりを解説するなどの展示を行った。</p> <p>資料点数：39点 入館者数：6,078人</p>
<p>※例年年度末に実施の発掘調査速報展(令和3年度調査分)は、令和4年度春に実施。</p>			
(5) 教 育 普 及 事 業	ア 講座・イベント		
	縄文ひろば	<p>10月10日・24日 11月14日・28日 12月12日 の各日曜日 計4回 ※例年、第2・第4日 曜日に実施してき たが、コロナ禍で10回 分が中止。</p>	<p>火おこしデモ公開、石器づくりデモ公開、復元住居公開・火焚き実施、史跡公園内ツアー他を実施。 ※例年、火おこし体験、アングレン編み、貝のアクセサリづくり、縄文服の試着体験等、縄文時代の生活を学ぶことを目的に実施してきたが、コロナ禍の中、接触を伴う体験学習や、密集につながる見学対応は見合わせた。</p> <p>参加人数：未集計 ※集計につながる体験などが未実施のため</p>
	縄文春まつり	<p>5月4日(火)・5日 (水)</p>	<p>勾玉づくり・組ひもづくり、縄文不思議発見の旅、縄文工作教室、スマートグラス体験(AR体験)、「教えて学芸員」、加曽利クエストなどを実施</p> <p>参加人数：4,380人</p>

自然観察ワークショップ	5月22日(土) 1月22日(土) ※5/22は雨天中止	加曽利貝塚の自然を活かしたワークショップ。 指導者を迎え、園内の自然観察を行う。 参加人数：11人
縄文土器づくり講座	6月5日、12日、 26日の各土曜日 ※3日間実施で一連の 講座	中学生～成人を対象とした縄文土器づくり体験。 粘土素地づくり・成形・整形・焼成を学習した。 参加者：延べ27人
夏休み縄文ウィーク	8月11日(水)～ 8月15日(日) ※8/15に予定してい た縄文ひろばは中止	勾玉づくり・貝輪づくり・組ひもづくり・発掘体験 の小学生向けの体験学習週間として実施。 参加人数：延べ130人
縄文秋まつり	10月2日(土)・3 日(日)	勾玉づくり・組ひもづくり、縄文不思議発見の 旅、縄文工作教室、スマートグラス体験(AR体 験)、「教えて学芸員」、加曽利クエストなどを実施 参加人数：3,324人
加曽利ウォーク	10月30日(土)	市内文化財を歩いて巡る講座。今年度は緑区おゆ み野地区の遺跡(有吉北貝塚など)を対象とした。 参加人数：12人
縄文時代研究講座	12月11日・18 日、1月8日・15 日、2月12日・19 日の各土曜日 ※2/12(第5回)は、感 染拡大に伴い中止	一般市民向けの初級から中級の講座。 第1回「加曽利E式の終わりの一例を考えるー千葉 市愛生遺跡についてー」 講師：長原 亘(当館職員) 第2回「市原市指定史跡祇園原貝塚ー千年続いた縄 文のムラー」 講師：忍澤 成視(市原市教育委員会) 第3回「人骨鑑定入門編」 講師：千葉 南菜子(千葉市教育委員会文化財課) 第4回「西上総地域における縄文時代早期の様相に ついて」 講師：田中 大介(袖ヶ浦市教育委員会) 第5回「県内貝塚の分布調査ー成果とその先に向け てー」 講師：松浦 誠(千葉県教育庁教育振興部文化財課) 第6回「加曽利EIV式土器とその末裔たち ー千葉市内の加曽利E式の終末についてー」 講師：館 祐樹(当館職員) 参加人数：113人

<p>特別講座 考古学研究の最前線Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>1月10日(月・祝) 1月23日(日) ※1/23(Ⅱ)は、感染拡大に伴い中止</p> <p>※Ⅱは、令和4年度10月実施予定の講座へ振替予定</p>	<p>考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館長と共に行う講座 一般市民の参加が可能な上級者向けの講座。</p> <p>Ⅰ『縄文社会を科学する』 趣旨説明 高橋龍三郎（早稲田大学文学学術院・教授） 「千葉県遺跡出土の古人骨DNAから見た縄文社会」 脇山 由基（東京大学大学院理学系研究科・修士課程） 太田 博樹（東京大学大学院理学系研究科・教授） 「古人骨の同位体分析から縄文社会を考える」 米田 穰（東京大学総合研究博物館・教授） 「縄文人骨に見る古病理学的・形態学的特徴」 藤田 尚（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター・副センター長） 「縄文中期から後期の社会大変動を考える」 高橋 龍三郎（早稲田大学文学学術院・教授） 「縄文土器と動物型土製品の胎土分析から見た縄文社会」 池谷 信之（明治大学黒耀石研究センター・特任教授） 「動物形象突起から見た縄文社会」 長山 明弘（前千葉大学文学部・非常勤講師） 総括 高橋龍三郎（早稲田大学文学学術院・教授）</p> <p>Ⅱ『考古学研究の最前線 縄文時代後期の新視点 一貝塚・土器・祭祀一』 趣旨説明 安斎正人（元東北芸術工科大学東北文化研究センター教授） 「縄文時代後期の貝塚の様相について」 西野 雅人（千葉市埋蔵文化財調査センター所長） 「縄文時代後期の東北地方の土器の様相について」 西村 広経（松戸市立博物館学芸員） 「縄文時代後期の祭祀遺物の様相について」 秋田 かな子（東海大学文学部准教授） 総括コメント 安斎 正人（元東北芸術工科大学東北文化研究センター）</p> <p>参加人数：65人</p>
<p>市民のための研究講座 「縄文を知る -市内縄文研究概論-」</p>	<p>3月19日(土)</p>	<p>一般市民向けの初級から中級の講座。 「千葉市の土偶を紹介します！」 長原 亘（当館職員）</p> <p>参加人数：38人</p>
<p>「発掘調査体験・縄文工作教室」</p>	<p>4月～3月 土・日曜日・祝日 計117回実施 発掘体験45回 工作教室72回</p>	<p>発掘調査体験や縄文工作教室(フォトフレーム・モバイル・フロッタージュ)を実施。</p> <p>参加人数：延べ4,442人</p>

外部イベントでの啓発 【依頼なし】		各所で開催されたイベントへ参加し、加曽利貝塚のPRを実施。※令和3年度は相談など全くなし。
イ 小学校・団体見学 小学校・中学校	通 年 11月24日(水)	市内小学校20校、市内中学校3校、市外小学校13校、市外中学校2校が社会科見学で来場。史跡内の解説およびワークシートによる学習を指導した。 ※市内小中学校15校/38校、市外小中学校22校/37校が申込後キャンセル。 桜木小学校のみ例年実施の学習支援を行った。 5年生の児童121人を対象に、事前の出前授業および加曽利貝塚への見学対応を行った。 ※県立桜ヶ丘特別支援学校から相談あり実現見送り
団体	通 年	令和3年度は計20件の一般団体見学に対応した。※申込総数27件に対し、7件のキャンセル。
ウ 講師派遣	6月16日(水) 9月7日(火) 10月16日(火) 10月17日(日) 11月12日(金) 12月4日(土) 12月19日(日) 12月22日(水) 1月16日(日) 2月6日(日)	職員が各施設に出向くなど加曽利貝塚について講義・講演を行った。 大学講義ゲストスピーカー(東都大学) 千葉市政出前講座(おゆみ野歴史愛好会) 博物館主催講座(袖ヶ浦市郷土博物館) 高齢者福祉講演会(さつきが丘いきいきセンター) 公民館講座(みつわ台公民館) 市民講座(緑図書館) 歴史講座(大網白里市図書室) 公民館歴史講座(末広公民館) みんなの学校主催講座(朝日ヶ丘公民館) コミュニティセンター主催講座(千城台コミュニティセンター)
エ 出張展示	4月17日(土)~29日(木) 7月2日(金)~11日(日) 9月28日(火)~10月11日(月) 11月3日(水)~14日(日)	千葉市生涯学習センター【中止】 千城台コミュニティセンター 高洲ショッピングセンター みつわ台公民館
オ 職場体験の受け入れ	12月1日(水)~3日(金) の3日間	職場体験の機会を提供した。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験。 都賀中2年生 1校3人

	カ 博物館実習の受け入れ	8月24日(火)～ 9月3日(金) の10日間	学芸員課程履修中の学生5 大学5 人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、施設の維持管理、資料整理、展示など教育普及事業の補助などを行った。
	キ 博物館ボランティアの活用・育成 【ガイド活動】 【研修講座】	通 年 ※令和3年度は10月～12月及びイベント時のみガイド実施 11月1日、8日、15日、29日の各月曜日 12月7日(火)～10日(金)、12日(日)	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 ・活動内容 博物館内および遺跡公園内の解説、体験学習(火おこし体験など) 博物館以外の園内および施設に限った解説、復元集落での火焚きおよび語り部、火おこし・石器づくりのデモの実施、体験学習は接触を伴うため未実施など、ソーシャルディスタンスの元で行える一般見学者向けの活動のみ実施。 ・活動日時 火曜日～日曜日、館のイベント実施日などの期間 10時00分～15時00分、その他見学団体からの要請に対応 ※事前予約があった場合、ガイド1人に見学者5人の小グループでの見学対応を実施。 ・登録人数：55人 ・年間解説：75回 延べ7,336人 ・募集は実施せず。 ※令和2年度応募者への声掛け及び問合せ ・基礎講座(全6回※4日間) ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。 ・専門講座(全5回) 加曽利貝塚の歴史などに関する専門的な知識の習得や体験学習・展示解説の実習を目的に加曽利貝塚博物館で実施。
(6) その 他	ア 千葉県博物館協会 イ 全国博物館長会議 ウ 全国歴史民俗系博物館協議会 エ 日本博物館協会	5月19日(水)から 5月31日(月)の間 7月9日(金) 6月1日(火) 7月16日(金)～30日(金) 11月17日(水)・18日(木)	総会(書面開催)(千葉県立中央博物館) 第1回研修委員会会議(県立美術館) ※第2回は未開催 ※千葉ブロック会議は未開催 文部科学省(オンライン開催) 年次総会(書面開催) ※関東ブロック集会は未開催 第69回全国博物館大会(かでの2・7[北海道立道民活動センター]札幌市)不参加

○郷土博物館

1 入館状況

年度	開館日数(日)	来館者数(人)	備考
令和元年度	286	46,308	R2.3.3~3.31 臨時休館
令和2年度	260	30,453	R3.4.1~R3.5.25 臨時休館
令和3年度	308	44,648	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通年	展望室眺望改善改修等実施設計 その他小規模な設備の改修を実施
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通年	展示・研究等に必要な資料の収集を行った。 茶道具など463点の寄贈等を受け、資料として登録した。 他に、大鎧のレプリカを2領(大人1、子ども1)を製作した。
	イ 資料の整理保管	通年	収蔵資料の再整理作業を行い、基本カードの再確認、資料のデジタル撮影を進めた。また、他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ①資料貸出 4件 53点 ②写真貸出・掲載 33件 141点 ③資料館内利用 1件 10点
	ウ 新規収蔵資料 燻蒸	1~2月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行った。
	エ 収蔵庫・展示室 等環境調査	7月~11月	本館及び収蔵庫について、展示・収蔵環境の現状を多角的に把握し、展示・収蔵資料のよりよい保存環境を整備するために環境調査を実施した。
	ア 館内調査研究	通年	企画展等に伴う資料調査を実施した。
(3)	ア 館内調査研究	通年	企画展等に伴う資料調査を実施した。

	イ 千葉市民俗資料調査	通 年	当館所蔵の民俗資料（主に信仰関係）の調査を行った。
	ウ 千葉氏関係資料調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査した。また、千葉氏関係史料の史料目録を作成し、一部を研究紀要に掲載した。 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉氏関連石造物の調査 ・岩手県奥州市所蔵「椎名家文献」調査 ・村上文庫所蔵「尾張文書通覧」調査
	エ 『研究紀要』の発行	3 月	『研究紀要』第28号の発行 A4判 34ページ 800部 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉氏関係史料調査会調査概報（四） ・千葉市制100周年記念令和3年度企画展「千葉市誕生」に関する小考察
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	千葉市に関わる歴史資料の展示 1階 歴史年表、千葉市域の城郭遺跡、千葉市に関するミニ展示など。 2階 所蔵資料にみる日本の武器・武器 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収 3階 千葉氏の興亡と妙見信仰 4階 近現代の千葉 5階 展望室（パネル展示など）
	イ 特別展 千葉市制100周年記念「高度成長期の千葉—子どもたちが見たまちとくらしの変貌—」 (2階展示室)	8月3日(火)～10月17日(日)	市制施行からの100年間で市の様相が最も大きく変化した高度経済成長期。この時期、本市では人口が急増し、本格的な工業化、家電の普及やレジャーの多様化など人々の暮らしも豊かになっていった一方で、公害など生活環境の悪化が社会問題となった時期でもあった。こうした状況を当時記された小中学生の文集に表れる「子どもの視点」を紹介しつつ展示した。 資料点数： 204点 入館者数：7,268人

	ウ 企画展		
	千葉市制 100 周年記念「千葉市誕生一百年前の世相からみる街と人びと一」 (2 階講座室)	10 月 19 日(火) ～12 月 12 日(日)	市制 100 周年を記念して、市制施行に関する資料や、当時の「千葉のまち」とその世相を経済・教育・文化の各方面について展示するとともに、スペイン風邪などの感染症・関東大震災・千葉開府八百年祭など前後の出来事を紹介した。 資料点数： 125 点 入館者数： 8,961 人
	「陸軍気球連隊と第二格納庫—知られざる軍用気球のあゆみと技術遺産ダイヤモンドトラス—」 (1 階展示室)	5 月 26 日(水)～7 月 11 日(日)	市内にかつて存在した陸軍気球連隊の歴史について、軍用気球のはじまりと役割、埼玉県所沢市時代の気球隊、千葉市移転後の地元との交流や戦争とのかかわりなど、解体された第 2 格納庫の部材や模型とあわせて展示した。 資料点数： 169 点 入館者数： 5,122 人
	パネル展「千葉常胤と 13 人の御家人たち (南関東編) (1 階展示室)	1 月 26 日(水)～3 月 6 日(日)	鎌倉幕府成立に大きく貢献した千葉常胤と同時期に活躍した御家人 13 人の内、南関東に勢力を持っていた 7 人の御家人について紹介した。 資料点数： 30 点 入館者数： 5,941 人
	「千葉市内出土 考古資料優品展」(市埋蔵文化財調査センターと共催) (1 階展示室)	11 月 17 日(水)～1 月 23 日(日)	これまでに市内で発掘された多くの考古資料の中から、文化財指定されているものを含む優品の数々を展示し、そこから分かることなどを紹介した。 資料点数： 72 点 入館者数： 7,902 人
(5)	ア 講座・イベント		
教 育 普 及 事 業	鎧やむかしの着物の着用体験 【中止】	毎月第 3 土曜日	中世の鎧や直垂、桂、小袖、近世の袴 (いずれも複製) などを着用することにより歴史に親しみながら学ぶ。 参加人数： 0 人
	ちよっと昔の遊び体験 【中止】	毎週土曜日	かざぐるまやぶんぶんゴマづくり、折り紙など昔なつかしい作って遊ぶ体験 参加人数： 0 人
	夏休み郷土史講座	7 月 20 日(火) 7 月 22 日(木)	小学生 4～6 年生、中学生を対象の、それぞれの郷土の歴史について講義した。 小学生：かわってきた千葉市の海のまわりの土地

		中学生：千葉市の海辺の変遷 参加人数：15人
火縄銃演武 【中止】		火縄銃の実射（空砲）や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で学べる火縄銃演武。 参加人数：0人
鎧づくり体験講座 【中止】		夏休み中、小学4～6年生を対象に「当世具足」と呼ばれる鎧づくり講座。 参加人数：0人
歴史散歩	1月29日(土) 2月5日(土)	市内の史跡や文化財などを訪ねて、見学と解説を実施した。 講師：当館職員（定員：各15人） 参加人数：27人
鎌倉騎馬武者体験 【中止】		鎌倉時代の武士が用いた大鎧などを着用して郷土博物館前で乗馬体験。
歴史講座	10月2日(土) 10月16日(土) 11月20日(土)	特別展と関連して「高度経済成長期の千葉を伝える」をテーマに開催した。（千葉経済大学と共催、定員：100人） 第1回「時代をとらえる子どもたちの目—作文教育のありかたをめぐる—」 講師：高橋邦伯氏（青山学院大学特任教授） 第2回「高度成長期の千葉市臨海開発」 講師：池田順氏（千葉市史編集委員長） 第3回「東京湾の埋めたてと自然環境—その変遷と再生の試み—」 講師：工藤孝浩氏（神奈川県水産技術センター） 参加人数：141人
講座「千葉氏をまなぶ」	11月11日(木) 11月18日(木) 11月25日(木)	生涯学習センターと共催で、「千葉氏に関連した中世の千葉の様子について学習する」をテーマに開催 11/11「千葉氏と源氏—平忠常の乱の頃から—」 11/18「原氏の軍勢と戦国の世—小田原北条氏からの動員命令書を読む—」 11/25「展示解説」 講師：当館職員 参加人数：延べ85人

千葉氏公開市民講座	6月26日(土) 12月11日(土)	<p>6月26日は千葉県文化会館小ホールを会場に「武家政権成立期の東国武士の心性―「貴種」頼朝と千葉一族―」を全体テーマに開催した。</p> <p>講演 1 国分胤道にみる鎌倉武士の在り方―香取社領・大戸庄の在地領主として― 講師：外山信司氏（郷土博物館総括主任研究員）</p> <p>講演 2 「貴種再興」の時の千葉氏 講師：金玄耿氏（東京国立博物館アソシエイトフェロー）</p> <p>12月11日は千葉大学と共催で、千葉大学弥生キャンパス内けやき会館で「千葉氏・禅宗・東アジア―中世房総をめぐる新たな視座―」を全体テーマに開催した。</p> <p>講演 1 「中世東アジア世界の中の房総・千葉氏」 講師：山田賢氏（千葉大学人文科学研究院・教授）</p> <p>講演 2 「千葉一族・臼井氏と五山文学」 講師：川本慎自氏（東京大学史料編纂所・准教授）</p> <p>映像：千葉氏ポータルサイトで3月より公開 講演録：A4判 54ページ 500部（3月刊行）</p>
イ 学校・団体見学		
出前授業	通 年	郷土の歴史について、市内小中学校からの依頼に対し出前授業を行った。 実施校数：9校（36学級、1,003人）
学校見学	通 年	市内小中学校15校、市外小中学校11校が社会科学見学で来館した。 ※ワークシート等を活用
団体見学	通 年	来館した団体に対してボランティアによる展示解説 ※令和3年度は中止
エ 講師派遣	通 年 5月8日(土) 5月17日(月) 6月29日(火) 7月10日(土)	施設や団体からの依頼に応じて、職員が出張し、館外で郷土史に関する講義を実施した。 アカデミーちば（市生涯学習センター） 歴史講座（蘇我コミュニティーセンター） 歴史講座（黒砂公民館） 歴史講座（新宿公民館）

	7月15日(木)	佐倉を知る(佐倉東高校)
	7月19日(月)	歴史講座(蘇我コミュニティーセンター)
	7月29日(木)	歴史講座(花見川公民館)
	7月30日(金)	歴史講座(幕張本郷公民館)
	8月18日(水)	夏休み子ども講座(稲毛図書館)
	9月4日(土)	歴史講座(山王公民館)
	9月11日(土)	日本古文書学会(リモート・成田高校)
	9月18日(土)	歴史講座(おゆみ野公民館)
	9月19日(日)	歴史講座(誉田公民館)
	9月26日(日)	歴史講座(誉田公民館)
	10月23日(土)	歴史講座(佐倉市立弥富公民館)
	10月30日(土)	歴史講座(佐倉市立和田ふるさと館)
	10月30日(土)	歴史講座(さつきが丘公民館)
	11月2日(火)	県高等学校教育研究会(県立千葉高)
	11月5日(金)	戯曲アカデミー講座(千葉県教育会館)
	11月16日(火)	歴史講座(佐倉市立中央公民館)
	11月24日(水)	歴史講座(越智公民館)
	11月27日(土)	歴史講座(花見川図書館)
	11月28日(日)	鹿山文庫講演会(佐倉高校)
	12月4日(土)	市民講座(みやこ図書館)
	12月9日(木)	歴史講座(都賀コミュニティーセンター)
	12月10日(金)	佐倉市民カレッジ(佐倉市立中央公民館)
	12月15日(水)	幕張地元学同好会(幕張公民館)
	12月15日(水)	生涯大学(リモート)
	12月16日(木)	歴史講座(鎌取コミュニティーセンター)
	1月8日(土)	花見川区公民館合同歴史講座(幕張公民館)
	1月19日(水)	歴史講座(花見川公民館)
	1月22日(土)	花見川区公民館合同歴史講座(幕張公民館)
	1月23日(日)	県文化財保護協会(県立中央博物館)
	1月26日(水)	歴史講座(花見川公民館)
	2月3日(木)	歴史講座(若松公民館)
	2月12日(土)	花見川区公民館合同歴史講座(幕張公民館)
	2月19日(土)	歴史講座(轟公民館)
	2月24日(木)	歴史講座(幸町公民館)
	2月26日(土)	花見川区公民館合同歴史講座(幕張公民館)
	3月12日(土)	花見川区公民館合同歴史講座(幕張公民館)
	他に市政出前講座	①市制100年を迎える千葉市の歩み ②千葉開府900年に向けて、千葉氏を知ろう

		6月18日(金) 8月3日(火) 9月28日(火) 10月24日(日) 11月2日(火) 11月22日(月) 11月30日(火)	②みつわ台公民館 ①おゆみ野歴史愛好会(おゆみ野公民館) ②トアスの会(稲毛公民館) ②長作公民館 ②おゆみ野歴史愛好会(おゆみ野公民館) ①長作公民館 ②犢橋公民館
オ	職場体験の受け入れ		職場体験の機会を提供する。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験。 ※令和3年度は学校から依頼なし。
カ	博物館実習の受け入れ	8月17日(火)～25日(水)	学芸員課程履修中の学生5人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、資料の整理、資料の取扱、教育普及事業の補助などを行った。
キ	博物館ボランティアの育成・活用	通年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 活動内容：館内の展示解説(令和3年度は中止) 活動日時：主に土曜日、日曜日、祝日 10時30分～12時、12時～13時30分 13時30分～3時 他に見学団体からの要請に対応 登録人数 69人 ※11月1日から人数・手法を制限して試行 解説回数：88回、参加者数：181人 ○育成関係(下記の講座を開催したが、専門講座が一部しか開催できなかったため、新規登録はなし) 基礎講座：ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。 専門講座：千葉市の歴史に関する専門的な知識の習得を目的に郷土博物館で実施。
		基礎講座(全6回) 11月1日～11月29日 専門講座(全4回)	

(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通 年	千葉市域に係る歴史資料の調査を通年で実施した。 ①千葉寺町 中村家文書 ②下泉町 猪野家文書（3次分） ③小中台村関係文書 他
	イ 歴史読本の刊行	3月	本市でははじめてとなる市民向けの歴史読本『史料で学ぶ 千葉市の今むかし』を刊行した。 B5判 219ページ 3,000部
	ウ 史料編の編集	通 年	『千葉市史 史料編 近現代』第2巻目に掲載する史料の選定作業、校正作業、補充調査を行った。
	エ 千葉市史研究講座		「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説した。 対 象：一般（定員：95人） 会 場：千葉市生涯学習センター2階ホール
	第1回	9月26日(土)	講演1 「房総における奈良・平安時代の墓制の特質—市内の遺跡を中心に—」 講師：塚原勇人氏（千葉市教育振興財団） 講演2 「千葉六党の城—とりわけ国分・大須賀氏一族を中心として—」 講師：小高春雄氏（大多喜町教育委員会）
	第2回	10月11日(土)	講演1 「青木昆陽と薩摩芋」 講師：笹川裕氏（千葉古文書の会講師） 講演2 「大正自由教育を生んだ手塚岸衛」 講師：松浦眞二氏（千葉市史編集委員） 参加人数：延べ140人
	オ 初級古文書講座	1月8日(土) 1月29日(土) 2月11日(金) 2月19日(土) 3月5日(土) 3月21日(月) (全6回)	古文書の解読を通じて、江戸時代の郷土への理解を深める。(午前コースと午後コースを実施、定員を各12人とした) テーマ：江戸時代の村の史料を読む 講 師：小代 渉氏（株東京堂出版編集部） 参加者数：延129人
カ 中級古文書講座	11月23日(火) 11月30日(火) 12月14日(火) 1月18日(火)	初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける講座。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 講 師：後藤雅知氏（立教大学文学部教授）	

		1月25日(火) 2月1日(火) (全6回)	定員：12人 参加者数：延べ 56人
	カ 『千葉いまむかし』の発行	3月	『千葉いまむかし』35号の発行 B5判108ページ 700部 ・日本赤十字社千葉支部戦時救護班の記録 ・入会野の近代～小間子野を事例に～ ・都川河口砂州の発掘調査について ・千葉市の弥生土器・石器―猪鼻城跡― 他
	キ ニュースレターの発行	9月、3月 (年2回)	ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため9月と3月に発行した。各2,000部
	ク 市史協力員の活動	通 年	古文書整理ボランティア 8人(40回) 新聞記事データベース入力の活動 4人(112回)
(7) 協議会	ア 千葉市立博物館協議会	8月26日(木) 3月11日(金)	第1回 ・令和2年度の事業報告について 第2回 ・令和4年度の予算(案)と事業予定について
(8) その他	ア 千葉県博物館協会 イ 関東博物館協会 ウ 日本博物館協会 エ 全国歴史民俗系博物館協議会	5月20日(木) 6月10日(木) 11月17日(水) ～18日(木) 7月16日(金)～ 30日(金)	総会(書面開催) 総会(書面会議) 第69回全国博物館大会(札幌市) →参加せず。 総会(書面会議)

【博物館法】

(博物館協議会)

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 法第20条第1項の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 法第21条の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和3年1月9日～令和5年1月8日

委員名	現職など	専門分野
はぎわら つかさ 萩原 司 (委員長)	元千葉市立大森小学校長 元千葉市教育史編纂事業事務局長	教育史
こじま みちひろ 小島 道裕 (副委員長)	元国立歴史民俗博物館研究部教授 (歴史研究系)	日本中近世史 博物館教育
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
ひろた なおゆき 広田 直行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画
こだま りえこ 小玉 理恵子	千葉市立美浜打瀬小学校校長	学校教育

令和4年8月現在